

消費者と提携し地域農業を守る



# 下郷農協

2016

9

No. 661

September

「大地の恵みに感謝!!  
大自然の中でそうめん流し」



# 自民党農政で家族農業・農村は

## 崩壊の危機

代表理事組合長 矢崎 和廣

強行しました。



### 農業・農村の衰退は

#### 自民党農政の結果

安倍政権が進める「アベノミクス」は、大企業優先、アメリカいなるの政策により、大企業製品の輸出を促進し、その見返りとして日本農業は後回し、「食料は輸入すればよい」とするこれまでの自民党政権の方向性を突き進んでいます。

これまでも輸入促進により国内の価格破壊が起こり、価格競争の中で、地域を支える家族農業は続けられなくなってきました。しかし、その事には触れる事無く、農業の衰退は農協がその役割を果たしていないからだとして「農協法改正」「農協改革」を

#### TPP反対運動阻止

農業・農村の衰退の原因を農協に押し付ける、その大きな目的はTPPの推進にあります。大企業優先、アメリカいなるの政策を更に進めるためには、どうしてもTPP反対運動の先頭に立つ農協を潰す必要があるからです。

そういう意味では、農協法改正・農協改革とTPPは表裏一体であり、郵政民営化の時のように「農協潰し」の目指すところは、農協が保有する貯金、共済の巨額のお金であり、全農が取り扱う農産物や肥料・農薬などのマーケットに関わる大企業、そして農業に企業参入したいコンビニやスーパーなど、企業のビジネスチャンスのために進めているのです。

大企業優先という事は、儲けが基本であり、人の健康などは関係ありません。

TPPが決まれば、輸出産業の儲けのために、今まで認められていなかった食品添加物の使用や、厳しく規制していた残留農薬基準や遺伝子組み換え表示義務などが大幅に緩和・見直される事になり、価格は安くても、自分の体の中に入れる食べ物もどれだけ危険で怖い食べ物も食べているのか、どうやって作っているのかさえも分からない時代が来ます。

#### 農業人口は半減

このような自民党農政により、農業・農村の衰退は加速し、2000年の389万人いた農業就業人口は2016年2月には192万人となり、約15年で半減しました。

地域を守る重要な役割を担う家族農業は、後継者も育たないため、農業従事者の平均年齢も62歳から67歳となり、70歳以上が約50%を占めています。

あと10年先を考えると平均年齢も70歳を超えると考えられ、いくら大規模農家ばかり作っても、いくら企業参入を進めても家族農業は続けられなくなり、農村は各地で崩壊する事が懸念されます。

#### 自給率の向上を

「農畜産物の輸入自由化」で輸入は増加の一途です。自国で農畜産物をしっかりと生産できるのに、自給率は先進諸国で最低水準の39%に低迷しています。

特に米については、暴落と補助金の廃止などにより生産者の意欲を無くし、米作りを止める農家も増えています。

政府は「農業を守る」と言うならば、まずは農業・農村をしっかりと守っている「家族農業」に目を向けるべきです。

#### 生産者を何とか増やしたい

農業従事者が減少する中であって、下郷農協も例外ではなく、生産者は減少しています。

特に、畜産については初期投資や飼料高騰などにより、新しく就農を希望する人は少ない状況です。

今後は農協出資の法人が農業をする事も増えてくるように思われますが、何とか生産者としての農家を作りたい、援助したいと考えています。

住宅の紹介も含め、是非とも新規就農の希望、またはご紹介をよろしく願います。

# 「ほんまもん農産物認定制度」学ぶ

## 野菜組合が臼杵市で視察研修

下郷有機野菜生産出荷組合（鷹崎満行組合長）の会員21名は、臼杵市の「ほんまもん農産物」認定制度の取り組みを学ぶため、臼杵市役所野津庁舎や土作りセンターへ視察研修を行いました。

う取り組みを行っています。

協議会は平成22年3月に発足、ブランド化を目指すということで臼杵の草木8割・豚ぶん2割の堆肥を作るため、「土作りセンター」という堆肥センターを建設し「うすき夢堆肥」を製造しています。

建設費は総額6億円（国3億・県1.5億・市1.5億）、稼働6年目ですが、当初予定していた生産量の半分以上と課題は多いようです。

もちろん臼杵市のブランド化を推進するための堆肥なので、市外には出回ることなく1t当たり5,000円で販売をしていました。

「この制度は、市長が臼杵市農業の発展と持続のために身を挺して進めたもので、市の農業のために国や県を動かすリーダーの存在がなければ、実らなかつただろう。今後の中津市・下郷の農業が、高齢化や後継者・就農者不足により農業廃止への一途をたどらないよう、有機栽培というジャンルで下郷農協・下郷地区が先頭にたって行くべきだと思う」と鷹崎組合長は研修の感想を述べていました。

（森山）



堆肥センターで説明を聞く組合員

## 「大地の恵みに感謝」

～そうめん流しで消費者と交流～



7月24日（日）、県内外から多くの家族連れが参加し、下郷地区鎌城台地の麦畑でそうめん流しが開催されました。このそうめん流しは、地元の有志で組織する麦部会が無農薬で栽培した小麦でそうめんをつくり、大空の下で大地の恵みに感謝し、消費者との交流を行っており、今年で3回目になります。

麦畑の面積は1.5畝あり、初めてそうめん流しに参加した消費者は「下郷に北海道がある」と話してくれました。そうめん流しは前日に同部会メンバーが竹を切り出してつなぎ、全長65メートル。そうめんの他に下郷農協の食材を使用した焼肉コーナーや、耶馬溪牛乳で作ったソフトクリームを自分で巻いて食べるコーナーを設け長蛇の列ができるなど、会場は約200人の参加者でおおいにぎわいま



した。

松本聡雄部会長（下郷農協参事）は、「今年で5回目の収穫、播種・除草作業は適期に行えたが、気候による病害虫発生や鳥獣害の対策がうまくできず収穫量は3トンと例年の約半分でした。無農薬栽培を継続する難しさを思い知らされる年となりました。そうめん流しは、麦部会メンバーや多くの方々の協力で、安心・安全な小麦収穫の喜び、そして消費者との楽しい交流会ができてほっとしています。一時的にはそうめんを流しても、流しても末端まで届かない時もありました。そのため食材の提供に追われ、消費者と話す時間が十分とれなかったことが反省点、来年はさらに充実した大イベント開催を目指したいです。」と話してくれました。





江洲集落での常会の様子（江洲公民館）

腎機能・痛風(尿酸) ) は中津市の特定健診で無料とされており、診療所でも無料です。(中津市健康ガイド参照) 胸部レントゲン・心電図・心機能・一部採血を追加した場合は有料です。  
 ・診療所の休みが長い。(盆・

正月・GW)

↓農協と先生との契約、医師会の規定に準じた休みになっています。

・診療所で、蜂の抗体検査をしてもらえるだろうか。

↓蜂に刺されてから1か月後なら採血でわかります。診療所にて出来ます。

多くて大変である。

・「米」を作っても採算が合わないのので、約三分の一度は耕作放棄地になっている。

・あまった野菜で漬物や乾燥野菜を作ってみてはどうか。

↓乾燥野菜については農協での加工は難しいと考えています。農家で乾燥したものを受け入れるようにすれば販売可能です。(干し大根・干しタケノコと同様)

・素麺を乾麺にせず、限定販売の生めんではどうか。  
 テレビでやっていたが、よく売れていた。

↓半生めんについては、委託先での製造は可能ですが賞味期限が短いため販売に至っておりません。限定販売等について検討いたします。

・生産力維持のためには、耕作放棄地を農協が請け負ってやっていく必要がある。

・農協のHPに生産者の「顔」を取材とともに載せて商品を作るPRしたらどうでしょうか。

・ギフトのチラシにお肉がないからインパクトにかける。

・牛乳1ℓもキャップ(明治は400ml)付が売れている。他の主力メーカーも出している。お年寄りや手に力がなく開けられない人や、冷蔵庫で縦置きでなく横置きにも出来て便利。農協でも企画できないか。

・ギフト商品で肉が少ない、特に肉で5,000円位の企画がほしいが、ないのは残念だ。

・とり肉の切り方がざつ。焼肉用の切り方を考えてほしい。

・食品加工品として煮込み用などのソースなどを作ってみたらどうか。

・農協でケーキを作っているのか。(ギフトチラシを見て)

↓惣菜工場でシフォンケーキを製造しています。ギフトや購買でのご利用をお願いします。

↓健康米組合員の作付け品目については把握できています。

・今年、水田に草が

・鳥獣被害が多くて何もかもできない。  
 ・ピーマンが多くて市場に出しているのは、本当か。  
 ↓出荷が集中した場合は市場に出荷する場合もございます。  
 ・米生産者の全作付の品種を把握した方がよい。  
 ↓健康米組合員の作付け品目については把握できています。  
 ・今年、水田に草が

# 自然食の会が産地交流

## 子どもたちは河川プール満喫

7月24日(日)に福岡自然食の会の皆さんが産地見学・産地交流に来られました。

当日は最初に鎌城の石川さんの所へ黒豚見学に訪れ、石川さん夫妻に案内・説明をしていただきながら見学しました。飼いや餌へのこだわりなど丁寧な説明と可愛い黒豚を見ることが出来、良い見学になったと感じています。

昼食は下郷公民館で野菜組合の役員さんに作っていただいた食事を皆で頂きました。

地元産の野菜を使った料理と豆腐と黒豚肉のハンバーグなど多彩なメニューで皆さん美味しーいと言って召し上がっていました。

途中でレシピを聞いたり野菜作りの大変さを聞いたりしながら交流を行いました。

昼からは野菜組合長の鷹崎満行さんのところへ野菜の圃場見学に行き、野菜作りの現場を見学しました。



黒豚生産者から説明を受ける会員さんたち

その後、町内津民の河川プールへ向かい子どもさんを遊ばせ、帰りに購買で買い物をして帰路につかれました。

短時間で詰め込んだスケジュールでしたのでお疲れではなかったかと思いましたが、喜んでいただけただでしょうか？

(立花)



## 炭火焼で冠地どりPR

8月2日(火)・3日(水)、西別府病院の夏祭りに参加しました。職員の方が神輿を担ぎ、農協のアイスクリームをワゴン車に載せて皆さんのベットサイドに配布。ワゴン車は職員の方手作りで、農協のアイスを宣伝。患者さんは「花より団子」で、神輿よりアイスを待っている方が多かったとか。嬉しい限りです。家族の方や職員の方にアイス・耶馬溪牛乳・プリン・ヨーグルトを販売。秋には病院祭に毎年お邪魔していますが、農協ファンの方が今回も注文を取って待っていてくれました。

## 神輿と手作りワゴンでアイス配布



7月23日(土)、大山町農協木の花ガルテンもち浜店のイベントに参加し、おおい冠地どりの炭火焼を販売しました。同店舗では下郷農協の各種お肉や加工品などを取り扱って頂いています。炭火焼肉をお買い求めいただいたお客様から「おいしい!!」「家族のお土産に買って帰ろう!!」と声をかけてもらいました。

イベントに参加し、おおい冠地どりや下郷農協商品の宣伝ができました。

# 毎年恒例！ ルナ幼稚園 (サマーキャンプ)



8月4～5日、大分市明野のルナ幼稚園の年長組園児87名が毎年恒例のキャンプへ訪れました。日差しが強く暑い日でしたが長旅の疲れもなんのその、元気が笑顔で鎌城公民館で入村式を行いました。テントの準備を行い手作りのお弁当を食べ、3グループに分かれ見学へ向かいます。はじめのゴボウ掘り体験では、大きなゴボウは3人がかりで「うんとこしょ、どっこいしょ」の掛け声で掘り、採れたゴボウを見て大喜びでした。続いて伊原さんの酪農見学へ。牛のエサを計る計量機を見て、実際にエサの牧草を手に取り匂いを嗅いでみたりしました。1週間後に出産をひかえている母牛が少し興奮気味なので注意しながら見学をしましょうと呼びかけを受け、ゆっくり目をみながらお邪魔しますと見学を行いました。大きな体の牛を目の前に、恐る恐る手を出す子や、躊躇なくニコニコ話しかける子、思い思いに楽しみました。次に向かった石川さんの養豚場では、「黒豚の白い部分は何ヶ所あるでしょうか」というクイズを受



け、お昼寝中の豚を見ながら、触ったり声をかけたりして白い部分を探しました。答えは6ヶ所(4足・鼻・尻尾の先)という答え合わせと「豚にはなぜおっぱいがたくさんあるのか」という質問では「豚は1度に何匹も赤ちゃんを産んで、赤ちゃんがおっぱいを飲みやすいようにたくさんあります」との話を真剣に聞いていました。最後に牛乳工場で冷たいソフトクリームを満面の笑顔で食べ、キャンプへ戻りました。

テントの準備では率先して荷物運ぶ姿や、見学先では大きく元気な挨拶をする園児の皆さんを見て、生産者も農協職員も元気をもらいました。来年もまた、元気な皆さんとお会いしたいです。



## 健康米生産組合が圃場めぐりで研修

7月23日(土)、健康米生産組合(吉原和泉組合長・会員20名2法人)は、会員他11名が参加して恒例の圃場めぐりを行いました。毎年田植え後と稲刈り前の2回実施しており、生育状況の確認や各生産者の情報交換の場として長年続けられています。

当日は北部振興局から坂本普及指導員にも同行していただき、各圃場ごとに中干しの時期や生育状況に合わせた畦の草刈りなどの具体的なアドバイスをいただき大変勉強になりました。

圃場めぐりのあと、水管理や施肥・病害虫対策について学び、意見交換を行いました。2回目の圃場めぐりは収穫前の9月に実施予定です。

暑い中参加していただいた皆さん、大変お疲れ様でした。

(松岡)



成育状況を参加者で確認

## 店舗紹介

### 産直の店 大地様

久留米市城南町にあります、産直の店大地さんは1997年からお店を始められ今年で21年目になります。店長の緒方さんの趣味はなんと音楽♪耶馬溪でも2回ほどコンサートをされたそうです。乳製品、お肉、野菜などが人気商品です。

住所 〒830-0022 福岡県久留米市城南町19-2-1F

TEL 0942-32-5172

営業時間 11:00~19:00

(土曜日18:00まで)

定休日 日曜日



明治10年の下郷をも巻き込んだ大規模な「百姓一揆」

その六

(7) 瞬く間に県北一帯へと広がる

県北大一揆は、四月一日から宇佐郡の農民が戸長交渉を開始し、二日から蜂起し、三日・四日の間に国東方面は豊後高田、真玉、香々地、国見、国東まで。下毛郡は中津、三光、本耶馬溪、耶馬溪、山国まで広がります。

しかし、『明治十年県北大一揆に関する若干の報告』（野田秋生氏著）は、二日には既に大野・中畑（耶馬溪町津民）や曾木（本耶馬溪）、平田（耶馬溪町）でも「当時戸長中ニ於テハ金銀出納之義ニ付不正ノ取扱不少趣風聞ニ付諸帳簿取寄」（筆者の解釈・戸長の中には不正をしている者もいるといううわさがある）ので、帳簿を見せてもらおう）などとして行動を開始し、翌三日に蜂起したとしています。まさに、宇佐郡の農民が蜂起し始めるほぼ同日には津民、平田、

曾木等の農民も行動を開始していたということになります。

下郷に一揆の波が押し寄せるのは四日になってからで、その日の内に山国、五日には槻木まで広がっていきました。したがって「明治十年の百姓一揆」は、いくつかの地元の史料に見られるような下郷の農民が起こした「世直し一揆」なるものではないということがわかってきました。

それでは、一揆の現場はどういう状況だったのでしょうか。これについては生々しい記録があります。『西南戦争期における農民一揆 史料と研究』（水野公寿氏編著）は当時大分県下の裁判も管轄していた熊本裁判所の史料から一揆参加者の供述を係官が筆記したものを掲載しています。下記の通りですが、登場する氏名については「○○○○」。または「○○○」とします。

\*下毛郡柿坂村 真宗 ○○○○○ 同 ○○○○○

「自分共儀明治十年四月四日午後一時頃郡村不知者共大勢徒党シ同村ニ押シ来リ、同勢ニ加ハラサル者ハ家焼キ立ルト呼ハリ候、勢ニ畏レ其難ヲ免レント存シ心得違致シ、右徒党ニ相加ハリ立出候処、同勢ニテ住所氏名不知者手ブリニテハ不相成、何ソ携へ来レト申迫候ニ付、自分共ハ鎌ヲ腰ニサシ、守實村○○○方ニ押懸ケ貸金証書質物等差戻セト同勢ノ者共ト一同呼ハリ候迄ニテ其場立退キ、尚又島村ニ押懸ケ○○ハ○○○方ニテ鎌ヲ以テ醤油桶（四斗入ト供ス）ヲ打崩シ、○○ハ○○方ニテ鎌ヲ以テ大半切桶一ツ打チ崩シ候事。明治十年六月二十五日」。

さらに、この柿坂村の二人に対する判決は「兇徒ニ随行シ器物ヲ毀ツ者改訂律例第五百二十二条牆屋ヲ毀ツ者ヲ以テ論シ不応為重キニ問ヒ 各懲役七十日」とされています。

この柿坂村の一揆参加者二人の供述内容は、筆者の解釈によれば「自分たちは明治十年四月四日の午後一時頃知らない人たちが柿坂村（現耶馬溪町柿坂）

に押し寄せて来て、「一揆に加わらない者は家を焼き払うぞ」と叫ぶので、それは困ると思いい、一揆に加わることにした。その中の知らない人が「何か持っていない」といっているので、自分たちはカマを腰にさして守実村（現山国町守実）の○○○方（現山国町守実）の○○○方に押し掛け、貸金証書や質入れした物を返せ」とみんなで叫び、次に島村（現耶馬溪町下郷の小字「島」）に押し掛け、○○○方は、○○○方の醤油桶をカマで壊し、○○○方は、○○○方の大半切桶をカマで壊した。」というものです。

この供述からわかることは「知らない人たちが柿坂に押し寄せてきた」「一揆に加わらなければ家を焼くぞと脅された」。「まず守実の一户に押し掛け氣勢をあげ」「引き返して次に下郷の島の二戸を襲った」というものなのですが、一揆参加者の動きが不自然に思えてなりません。

この著書には、別の一揆参加者二人の供述も掲載されていますので次号で紹介し、動向をより詳しく見ていくことにします。



# 理事会だより

七月二十六日、第四回定例理事会を開催しましたので、議案および協議内容の一部概要をお知らせします。

報告事項：①第六十八回通常総会の開催結果について

②日販連の組織変更について

③熊本・大分震災支援活動報告について

第一号議案：六月決算承認の件について

第二号議案：第六十回下郷農協まつり開催について

第三号議案：その他

報告事項の第六十八回通常総会の開催結果については、六月二十六日(日)に開催された総会の開催結果(数値)概要として、出席者数等を昨年対比で報告、議案協議内容等を含め総括協議をしました。日販連の組織変更については、農協も出資する日本販売農業協同組合連合会(日販連)が、農林水産省の指導を受け非出資組合へ移行後、一般社団法人に組織変更する旨の報告を行いました。熊本・大分震災支援活動報告については、消費者団体等と連携し、物資支援・給水支援(二回)・入浴支援(十五回・利用者三二六名)等の取り組みを行い、七月末で一旦支援を終了、今後は被災地の要望等を受けた中で対応を検討することが報告されました。

第一号議案の六月決算承認の件については、事業利益△五、〇一十千円の計画に対し△五、五二一十千円の未達成となりました。事業利益は計画対比で、収益部門のうち戻入益含の貸付三、六六四千円、販売商品八三、四千円、農産三三、一十千円、購買二〇、七千円等が達成、食肉三、一五五千円、牛乳八、九千円、惣菜八、一四千円等が未達成となりました。

第二号議案の第六十回下郷農協まつり開催については、開催日時を十一月十三日(日)十時開会、下郷小学校グラウンドで行う事を決定、また、今回は節目の年、今後十～二十年先の開催を見据え、実行委員会の前後にプロジェクト・検討委員会(仮称)を組織、アイデアを出してもらい実行委員会へ提案・協議を深めて進めることとしました。

## 第60回 下郷農協まつり

と き：2016年11月13日(日曜日)〔雨天決行〕  
10時開会

ところ：下郷小学校グラウンド(下郷農協本所隣)

◎出店・ステージでの出演者募集中!

お問合せ：まつり実行委員会事務局  
(下郷農協 管理部まで TEL0979-56-2222)



(昨年の農協まつり)

### 人事異動

七月三十一日付けで

上杉 ゆり(管理部)

が、一身上の都合により退職しました。

### 購買部

10月1日(土)は

決算棚卸のため、購買部ふれあいの店は休業とさせていただきます。

ご迷惑をお掛けしますが、よろしくお願い致します。

### 診療所

休診のお知らせ

9月3日(土)は、

下郷診療所長不在のため、休診とさせていただきます。



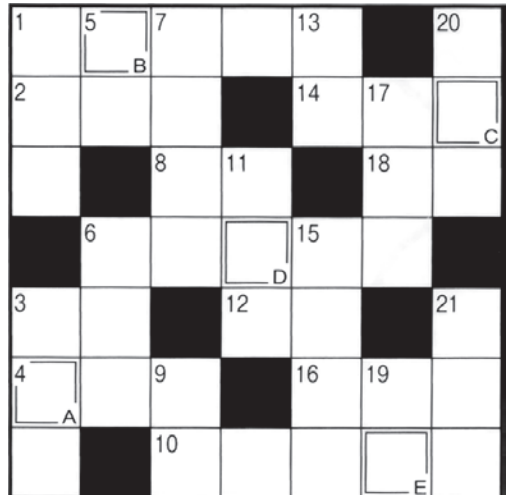
読者プレゼント パズル?

頭の体操



Q 二重マスの文字をA~Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか?

- タテのカギ
- 1 分速を60倍すると
  - 3 ーにかけて育てた作物
  - 5 無の反対語
  - 7 ( )や【 】などのこと
  - 9 結婚式でご祝儀を渡したり芳名帳に記入したりする場所
  - 11 引いて当たり外れを決めます
  - 13 一重の人も二重の人もいます
  - 15 あまり腕の良くない医者のこと
  - 17 鳥籠の中に付ける棒
  - 19 マツタケをー蒸しにして食べた
  - 20 ーのように丸い月
  - 21 カメやカップの背中に付いています
- ヨコのカギ
- 1 ススキや団子を供えて月を観賞します
  - 2 芸事の家元のこと
  - 3 ーは熱いうちに打て
  - 4 お遍路さんがぐるりと巡る
  - 6 寝相の悪い人は蹴飛ばしてしまいがち
  - 8 夫のパートナーです
  - 10 ゆっくりした速さで走ること
  - 12 丸々としたーのような赤ちゃん
  - 14 巨峰、ピオーネ、マスカットベリーAといえ
  - 16 花束に結べばいっそう華やかに
  - 18 宣伝などを書いて通行人に配る物



クイズの正解者の中から抽選で二名、下郷農協の商品をプレゼントいたします。ふるってご応募ください。

応募締切は二〇一六年九月二十日(必着)です。

① クイズのこたえ [A][B][C][D][E]  
住所・氏名・電話番号  
② 住所・氏名・電話番号  
③ 下郷農協へのご意見ご要望など  
以上をご記入の上、ハガキの方は  
〒八七一一〇四三一  
大分県中津市耶馬溪町大字大島二一五-四  
下郷農協 企画部 宛  
Faxの方は〇九七九-五六一二八八九  
\*個人情報是他社への開示は一切しません。当  
選者のみ紙面で公表させていただきます。

八月号のこたえ 「センブウキ」

当選者 北九州市 小司 洋子 様

クイズの正解者の中から抽選で一名、下郷農協の商品をプレゼントいたします。ふるってご応募ください。

当選者のお名前は次号で発表させていただきます。

応募締切は二〇一六年九月二十日(必着)です。

- ① クイズのこたえ 数字の合計
- ② 住所・氏名・電話番号
- ③ 下郷農協へのご意見ご要望など
- 以上をご記入の上、  
ハガキの方は  
〒八七一一〇四三一  
大分県中津市耶馬溪町大字大島二一五-四  
下郷農協 企画部 宛  
Faxの方は  
〇九七九-五六一二八八九

\*個人情報是他社への開示は一切しません。当選者のみ紙面で公表させていただきます。

八月号のこたえ  
④ + ⑤ = 9

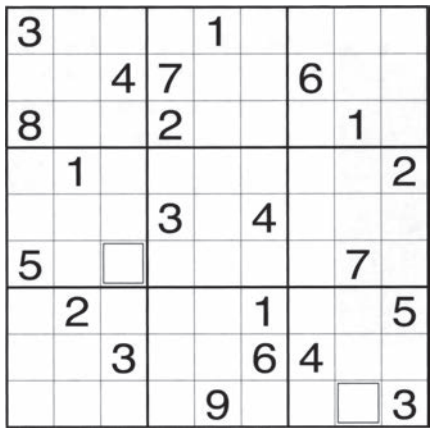
8	2	1	7	4	6	3	5	9
6	4	7	9	3	5	2	1	8
3	9	5	2	8	1	4	6	7
7	8	4	3	6	9	1	2	5
5	3	2	8	1	7	9	4	6
1	6	9	5	2	4	7	8	3
4	7	6	1	5	3	8	9	2
2	5	3	4	9	8	6	7	1
9	1	8	6	7	2	5	3	4

当選者  
宮崎市 継松 敏夫 様  
農協商品をお届けします。  
おめでとうございます。

数独 (すうどく)

Q 二重枠に入った数字の合計はいくつ?

《数独のルール》  
① 空いているマスに、1から9までの数字のどれかを入れます。  
② タテ列(9列)、ヨコ列(9列)、太線で囲まれた3×3のブロック(それぞれ9マスあるブロックが9つ)のいずれにも1から9までの数字が1つずつ入ります。



解答は次号で

